

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他の有価証券

時価のあるもの・・・決算日の市場価格等に基づく時価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品・・・最終仕入原価法に基づく原価法によっている。

消耗品・・・最終仕入原価法に基づく原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定率法によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の前期末残高、当期末残高及びその残高は、次の通りである。

科 目	取得価格	前期末残高	当期末残高	増減額
基本財産				
定期預金(基本)	—	2,000,000	2,000,000	0
投資信託1	60,000,000	33,291,132	36,496,087	3,204,955
投資信託2	50,000,000	31,636,001	34,042,950	2,406,949
合計	110,000,000	66,927,133	72,539,037	5,611,904

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次の通りである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味 財産からの充 当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
定期預金(基本)	2,000,000		(2,000,000)	
投資信託1	36,496,087		(36,496,087)	
投資信託2	34,042,950		(34,042,950)	
合計	72,539,037		(72,539,037)	

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期期末高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期期末高は、次の通りである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
備品	194,741	194,741	0
合 計	194,741	194,741	0